

# 東京大学 GX学生ネットワーク

UTokyo GX Student Network



P2308

## Food Bank UTokyo



**目的：**食品ロスの削減  
東大構成員や近隣住民の家庭で余った保存食品を回収し、回収した食品を必要とする学生に配布するフードバンク事業を行っています。回収ボックスは生協購買部・食堂や東大周辺の体育館などに設置しています。

P2307

## Nature Positive University



**目的：**生物多様性の減少傾向を食い止めて回復に向かわせる「ネイチャーポジティブ」に東大が貢献すること。キャンパスの生物多様性調査「BioBlitz」の開催や、生協食堂のカーボンフットプリント表示キャンペーンなどに取り組んでいます。

P2303

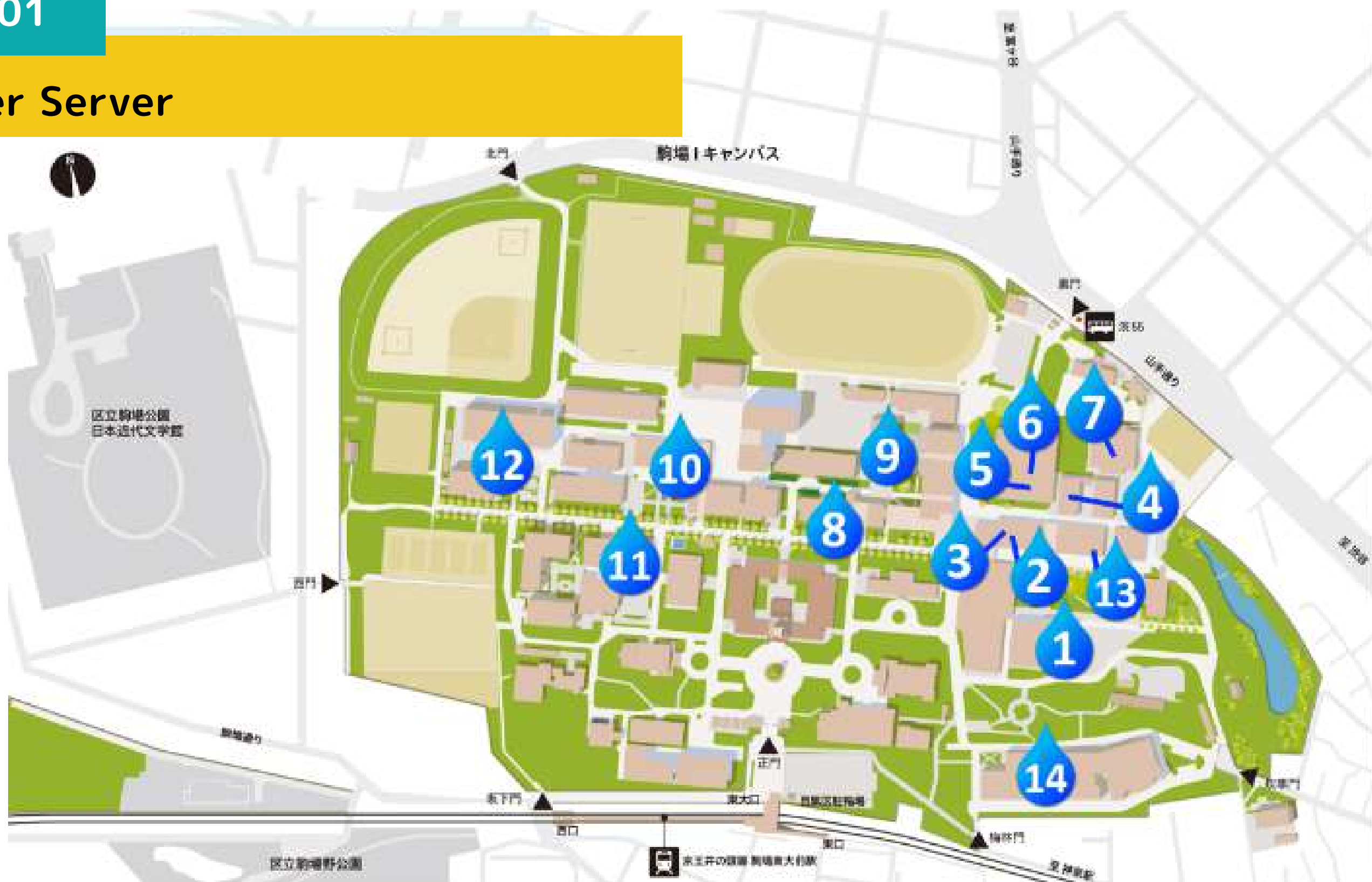
## Community Garden



駒場キャンパスの一角の駒畑（こまばたけ）で、環境に配慮した農法で作物を育てています。

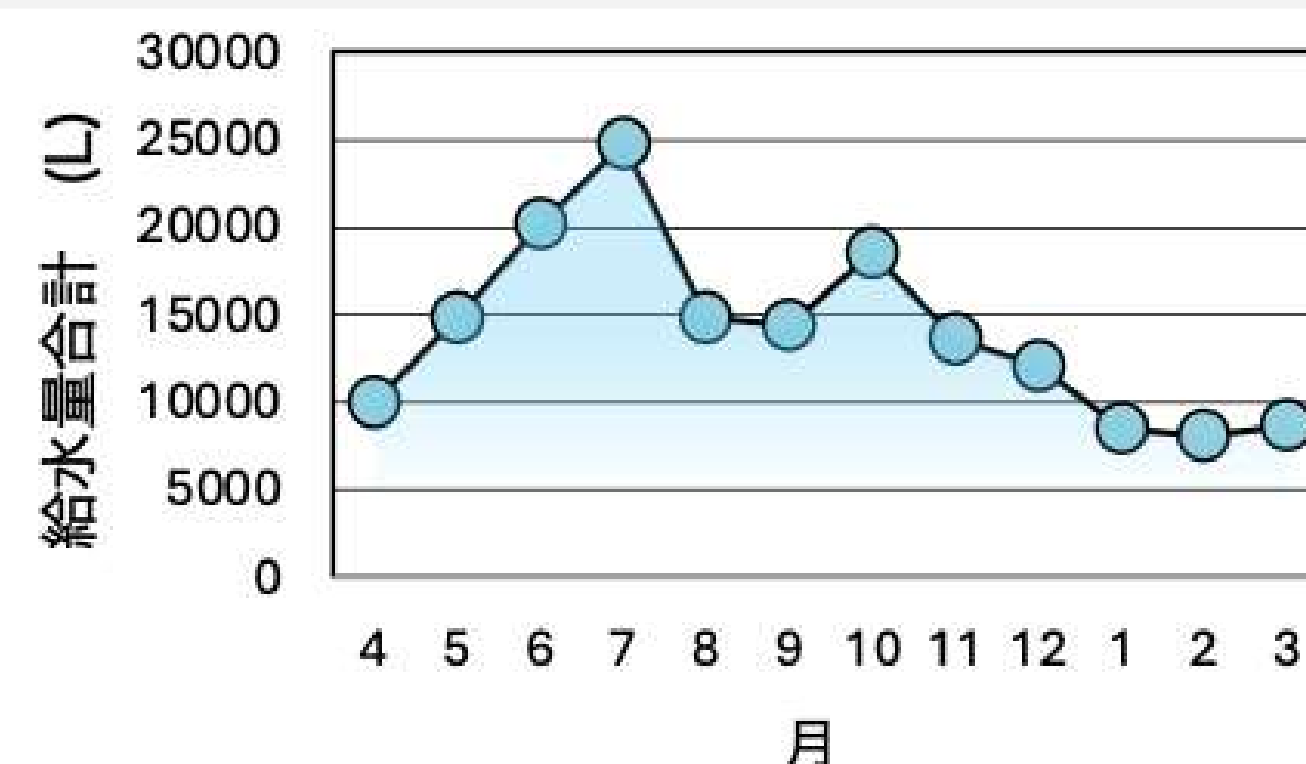
P2301

## Water Server



東京大学内へのウォーターサーバーの設置拡充に取り組むプロジェクトです。「マイボトル」の活用を促進することにより、ペットボトルなどの使い捨て消費の削減や、学生・教職員の環境意識の向上および持続可能なライフスタイルへの転換を目指しています。

これまでに合計28台の給水器が新規設置されました（2024年4月時点）。給水量の測定・分析により得られたノウハウ開示を通じ、取り組みの効果の定量評価や、他大学への横展開を推進しています。



P2304

## Sustainability Week

サステナビリティをテーマにした全学的なイベントを学生主導で企画・開催。2024年度は4/22~4/27の1週間に複数大学で同時開催しました。  
テーマ：「自分ごと」

| 4/22(月)                                                             | 4/23(火) | 4/24(水) | 4/25(木) | 4/26(金)      | 4/27(土)   |
|---------------------------------------------------------------------|---------|---------|---------|--------------|-----------|
| <b>Sustainability Talks</b><br>筑波大学    お茶の水女子大学    東京大学    東京農工大学   |         |         |         | ブーメランワークショップ | 大学間交流イベント |
| <b>東大生協コラボ</b><br>生協食堂スペシャルメニュー    第二食堂を食べきろう弁当<br>購買部Vegan商品ポップアップ |         |         |         |              |           |



Week関連イベント

ClimateTechの世界を知ろう  
-気候変動問題に取り組む技術-

上野公園BioBlitz

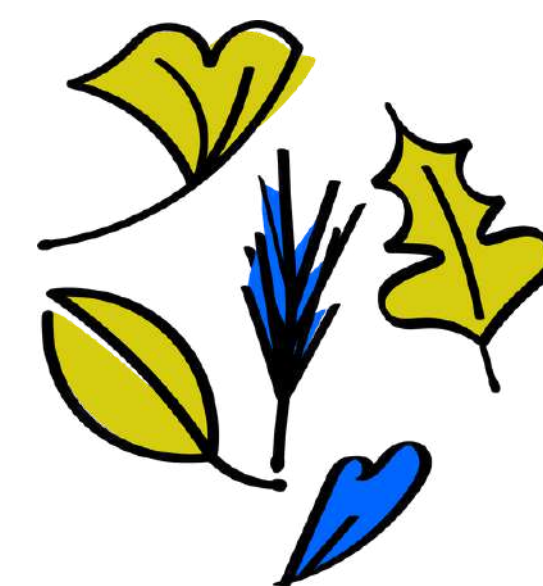
植林イベント



**SUSTAINABILITY WEEK 2024**  
4.22(月) - 4.27(土)



# Nature Positive University



## Nature Positive ?

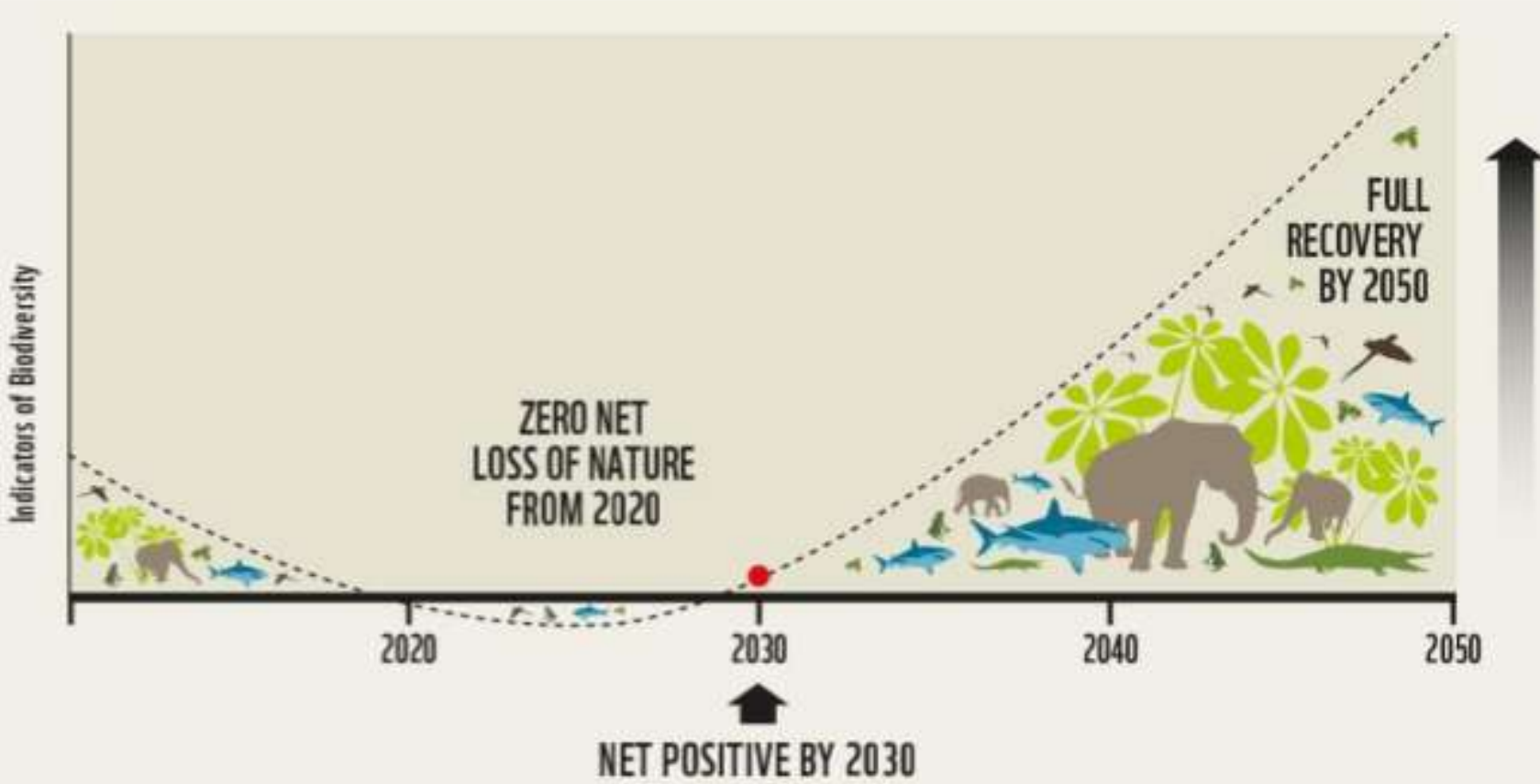
### 生物多様性



地球表面のわずか**0.1%**に、**25%以上**の生物が生息する「サンゴ礁」

### ネイチャーポジティブ ～ 生物多様性の2030年ミッション

2020年をベースラインとして、**自然の損失を食い止め、回復させる**



## Nature Positive University ?

### Nature Positive University (NPU)



Global パートナシップ & Global ネットワーク

キャンパス / コミュニティ / 地域 / サプライチェーンなどにおける「ネイチャーポジティブ・アクション」を目指す人が500以上の大学から参加

東大でも「ネイチャーポジティブ・アクション」を推進

### NPUの参加大学

137大学が Pledged

ベースライン分析 → 目標設定 → 活動 → 年次報告



### 東大NPUプロジェクトの計画

| キャンパス・大学所有地の Biodiversity                                               | 運営・サプライチェーンの Impact                                                  | 教育・アウトリーチを通じた Promotion                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ベースライン調査<br>・生物多様性モニタリング/ 監査の実施<br>・報告書の作成<br>・炭素の隔離/貯留<br>・生物種のインベントリ | ・データ収集<br>・食品購入 (COOP)<br>・調達 (Race to Zero チーム)<br>・生物多様性フットプリント 算出 | ・市民参加型のBioBlitzを キャンパス内外で開催<br>・Citizen science 推進<br>・iNaturalistで可視化<br>・各種イベントで報告/発表 |

**Strategy & Action Plan**  
・東京大学の生物多様性戦略 & 行動計画 (UTBSAP) の策定  
・ケーススタディ  
・将来的に国際的な基準や報告制度との整合化 Ex. SBT for Nature, CDP, TNFD

### プロモーション

#### BioBlitz (生き物一斉調査)



大学を拠点に地域の人々で生物多様性を見る化 → 生態系の保全・回復計画に活用

＜今までの活動記録＞  
2023/04/29 @弥生キャンパス (農学部)  
2023/06/25 @駒場キャンパス (教養学部など)  
2024/05/04 @上野恩賜公園 (本郷キャンパスの近くの公園)

こどもから大人まで  
誰でも参加可能！

今までに2歳から68歳までの150人以上が参加し、800以上の観察記録が追加された



自然を堪能できてとても楽しかった！  
身近な自然に気づくことができた！



### インパクト

#### 東大生協食堂メニュー CFP表示の取り組み

2023年1月22日 (月)～1月26日 (金)の5日間、CFP (カーボンフットプリント) を生協食堂の一部メニューに表示する取り組みに参加しました。

CFPとは、私たちの日常活動によって直接・間接に排出される二酸化炭素等の温室効果ガスの総量を計算したものです。

＜GXSNが担当したこと＞

- ・CFP表示カードデザインの作成
- ・アンケート広報の作成
- ・アンケートの作成
- ・ホームページ・SNS等での広報
- ・アンケート結果の分析
- ・CFP表示による行動変容分析
- ・シンポジウムでの発表



#### 特設サイトも制作！

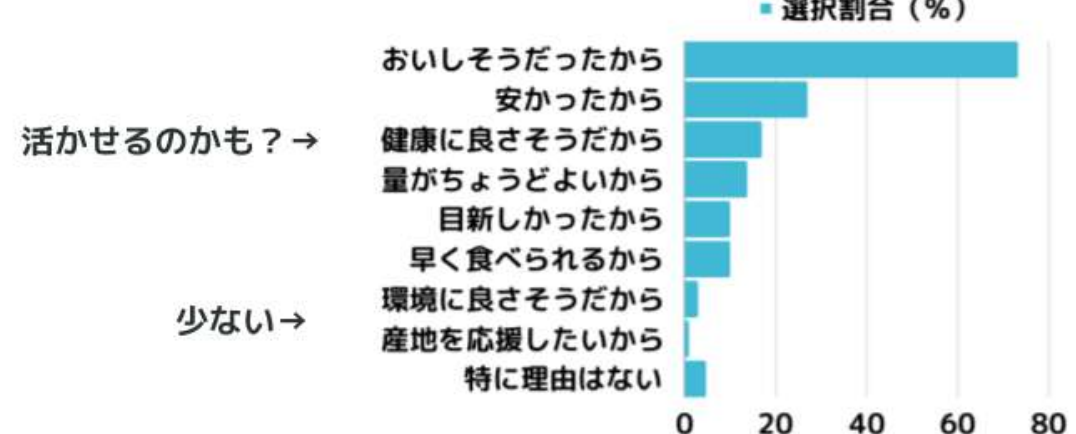


### ＜アンケートの結果 (総回答数1432)＞

食堂を利用する全組合員を対象としてアンケート調査を実施しました。総回答数は1432です。アンケートの結果、全メニューの排出量を計算・表示することが求められていることが分かりました。今回のプロジェクトとは別に、NPUではフットプリントを計算する取り組みも行なっています。

#### 環境「以外」の視点からのアピールが必要？

Q. あなたが今日食べたメニューを選んだ理由は何ですか？ (複数選択)



#### 東大生が「環境に良い」と思っていたメニューは？

Q. 温室効果ガス排出量の小さい順番に並び替えてください

実際の値 : オイルサーディン丼、ネグレストキムチカルビ丼、チキン竜田丼、辛みそ豚丼  
平均的価値 : ネグレストキムチカルビ丼、オイルサーディン丼、チキン竜田丼、辛みそ豚丼

1. 約半数が肉メニューの環境負荷を認識  
○ チキン竜田丼と辛みそ豚丼を3位or4位に回答したのは49.4%  
○ ランダムに回答すると16.6%なので、一定の認知度は見られる
2. 約一割が完全正解。オイルサーディン丼のギャップが大きい？  
○ 1・2位だけでなく、4位も多い傾向  
○ 水産物の環境負荷については情報不足？

#### CFP表示への支持は過半数。食の「制限」には反対

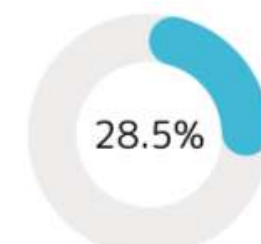
Q. 以下は食堂からの温室効果ガス排出量を減らす取り組みの例です。あなたが支持するものを全て選んでください。



#### CFPラベルは利用者の選択に影響したか？

Q. 表示ラベルはあなたの選択に影響を与えたか？ (気づいた方のみ)

- **28.5%**が「影響を与えた」と回答
- ラベルに気づき、さらに行動を変える人は全体では少数派？
- 実際の影響は販売量等を分析する必要がある



1. 一定の効果はありそう
2. より大きな変化を実現するには、さらなる工夫や、別の取り組みが必要？

#### 表示ラベルは成功していたか？

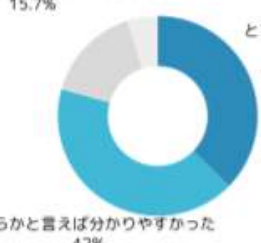
Q. CFP表示ラベルに気づいたか？

- 気づいていたのは26.3%のみ。
- 表示メニューが限られていたことも一因
- 表示メニューを食べた人の認知率は約半数



Q. ラベルの意味は分かりやすかったか？

- 「分かりやすかった」という回答が8割
- 要望の例  
○ 「もっと目につくところへ置いてほしい」  
○ 「排出量を何かに例えてほしい」  
○ 「もっと詳細を教えてください」



### プロモーション

#### その他の取り組み

私たちは2022年11月に「東京大学がNature Positiveに貢献できるようにする」ことを目的に、このプロジェクトを立ち上げました。NPUではその他にも、トークイベントへの登壇やワークショップの開催など、様々な活動に取り組んでいます。

#### COP28サイドイベントでの発表

